

製品安全データシート

作成：2010年11月10日

改訂：2013年06月01日

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|-----|--|
| 製品名 | メディテープチェック II |
| 会社名 | シスメックス株式会社 |
| 所在地 | 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 |
| 連絡先 | シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 991-1917 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|-------------------|--|
| GHS 分類の記載 | 該当しない |
| GHS ラベル要素 | 該当しない |
| GHS 分類に該当しない有害危険性 | 本品は人尿をベースに調製されており、人由来の物質を含有している。原料は、HBs 抗原、HCV 抗体、HIV-1 抗体及び HIV-2 抗体の検査を行い、陰性の結果を得ているが、感染性を完全に否定できる検査法はない。また4項目以外の感染性物質については確認していない。従って、本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意する。 |

3. 組成・成分情報

| | |
|-----------------|--------------------|
| 単一製品・混合物の区分 | 混合物（凍結乾燥品、溶解液ともに） |
| 化学的特性に関する情報 | 溶液（人尿をベースに調製されている） |
| 危険有害成分 | |
| 化学名又は一般名 濃度（範囲） | 該当しない |
| 化学式 | 該当しない |
| CAS 番号 | 該当しない |

4. 応急措置

| | |
|-------------|--|
| 吸入した場合 | 直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し速やかに医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに汚染された服やくつを脱がせ、付着または接触部を多量の水を用いて洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場合 | 直ちに多量の水で十分に洗い流し、速やかに医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 応急措置をする者の保護 | 情報なし |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------|-------------------------|
| 消火剤 | 水など |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際には、必ず適切な保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|----------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | 皮膚や眼に直接ふれないよう注意する。作業の際には、必ず適切な保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | 関連法令に従って廃棄する。漏出を除去する。公共用水域に流れないように注意する。 |

| | |
|---------------|---|
| 封込め及び浄化の方法・機材 | 紙タオル等に吸着させ水拭きした後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム等で拭きとる。 |
|---------------|---|

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|------------------------|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | 適切な保護具を着用する。 |
| 安全取扱い注意事項 | 目、皮膚、衣服につかないよう注意する。 |
| 保管 | |
| 適切な保管条件 | 2～8℃で直射日光・粉塵等を避けて保管する。 |
| 容器包装材料 | 密封可能な容器 |

8. 曝露防止及び保護措置

| | |
|------------|-------------------|
| 管理濃度 | 情報なし |
| 許容濃度 | |
| 日本産業衛生学会 | 情報なし |
| A C G I H | 情報なし |
| 設備対策 | 情報なし |
| 保護具 | |
| 呼吸の保護具 | 必要に応じて保護マスクを着用する。 |
| 手の保護具 | 保護手袋を着用する。 |
| 眼の保護具 | 必要に応じて保護眼鏡を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 物理的性状、形状、色など | 凍結乾燥品：スポンジ状 溶解液：無色澄明の液体 |
| 臭い | 特異臭 |
| p H | 凍結乾燥品を溶解液で溶解したとき、pH5.0～9.0 の範囲内である。 |
| 引火点 | 情報なし |
| 比重（相対密度） | 凍結乾燥品を溶解液で溶解したとき、1.01～1.05 の範囲内である。 |
| 溶解度 | 水に易溶 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 安定性 | 通常条件下では安定 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 直射日光、粉塵等を避ける。 |
| 混触危険物質 | 揮発性の化学物質 |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| 急性毒性 | 情報なし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発癌性 | 情報なし |
| 生殖毒性 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性（単回曝露） | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性（反復曝露） | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | 情報なし |
| その他の情報 | 本品は人尿をベースに調製されており、人由来の物質を含有 |

している。本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意する。

12. 環境影響情報

| | |
|---------|------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性／分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | 使用済みの本品および未使用品は、必ず適切な処理をした後、地域の規則および環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従って適切に廃棄する。 |
| 汚染容器及び包装 | 内容物を除去した後、地域の規則および環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従って適切に処理する。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------|--|
| 国際規則 | |
| 国際航空機輸送協会危険物規則 | 該当しない |
| 国際海上危険物規則 | 該当しない |
| 国内規制 | |
| 陸上「鉄道／道路」 | 該当しない |
| 内陸水路 | 該当しない |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 2～8℃で直射日光、粉塵等を避けて輸送する。容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。 |

15. 適用法令

| | |
|----------|-------|
| 適用される法規制 | 該当しない |
|----------|-------|

16. その他の情報

| | |
|-------|---|
| 一般的注意 | ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。 |
|-------|---|